



桜実神社の社殿と八ツ房スギ 宇陀市で



（住所）宇陀市菟田野佐倉764
 （祭神）木花咲耶姫命
 （交通）近鉄榛原駅から奈良交通バ
 ス「桜実神社前」下車（平
 日のみ運行）。西へ徒歩約
 10分
 （拝観）境内自由
 （駐車場）無料。約20台

桜実神社（宇陀市）



桜実神社は、宇陀市菟田野佐倉にあり、社地と周辺は、神武東遷の「菟田の高城」の伝承地とされています。神社名の桜実は、地名の佐倉に通じるものでしょう。祭神は木花咲耶姫命。1912（大正元）年、式内社に昇格しました。桜実神社に向かって左

に八坂神社、右に十二社神社と弁天神社、さらに

者（宇陀市）に振る舞われます。桜実神社の横にそびえる「八ツ房スギ」の巨木は、1932（昭和7）年に国の天然記念物に指定されました。最大樹高が14.4m、樹幹周囲が9.4mもあります。大小8本の幹が巨大な株状となり、互いに絡み合い、複雑な形になっています。樹皮は普通の杉と異なり、赤色をしています。この杉は神武天皇が大和平定の際、「菟田の高城」に陣を張った時に植えたものと伝わります。菟田の高城の山上には「神武天皇御東征菟田高城」の石碑があり、八咫鳥に導かれて進軍してきた神武軍が休息した地と伝わり、日本最古の城跡とされています。（奈良まほろばソムリエの会理事 松浦文子）

神武東遷由来杉と城跡

（奈良まほろばソムリエの会理事 松浦文子）